

議会だより



全員集合♪♪ 285人の子ども達
新設 ひまわりこども園入園式

平成28年3月定例会・臨時会

議会新構成	2
あらまし・議案審議	4
予算審査特別委員会	6
議員提出議案	7
一般質問 10人が登壇	8
町民の声	18

新しい議会構成決まる!!

1.氏名
2.行政区

総務常任委員会

総務・財務・企画・消防防災及び他の委員会に属さない事項を所管します。

委員長

副委員長



1. 金本 久美子
2. 神明町



1. 細貝 功人
2. 翁島駅前



1. 佐藤 光幸
2. 金曲



1. 長澤 操
2. 沼尻駅前



1. 瀧田 勝昭
2. 八千代

経済建設常任委員会

土木・建築・上下水道・農林水産及び商工観光に関する事項を所管します。

委員長

副委員長



1. 大橋 清喜
2. 大在家



1. 佐藤 英一郎
2. 木地小屋



1. 長沼 一夫
2. 富永



1. 渡辺 真一郎
2. 沼ノ倉



1. 佐瀬 真
2. 八千代

文教厚生常任委員会

教育及び厚生に関する事項を所管します。

委員長

副委員長



1. 五十嵐 ミエ子
2. 東館



1. 渡辺 二公
2. 中町



1. 関沢 和人
2. 夷田



1. 後藤 公男
2. 荻窪



1. 星野 あけみ
2. 上ノ上



副議長
後藤 公男



議長
長沼 一夫

3月1日臨時議会が開催され、正副議長をはじめとする議会の構成が決定しました。
正副議長の選挙は、投票により行われた結果、議長に長沼一夫氏、副議長に後藤公男氏が就任しました。

議長に長沼一夫氏 副議長に後藤公男氏

就任あいさつ

町民の皆さまには日ごろから町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
私たちは、3月臨時議会におきまして議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。微力ではありますが、町政発展のため、そして議会活性化のため全力を傾注してまいります。
今後とも開かれた議会運営に努め、町民の皆さまの付託に応えるべく邁進してまいりますので、皆さま方の更なるご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

議会運営委員会

議会の運営・議会の会議規則・委員会条例等議長の諮問に関する事項を所管します。

委員長 渡辺 真一郎
副委員長 長澤 操
委員 金本 久美子
委員 大橋 清喜
委員 五十嵐 ミエ子

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員

会津若松・北会津・西沼管内の10市町村で組織する一部事務組合で老人福祉・消防の運営、更に会津全域の市町村で組織する地域振興事業を行っています。

佐瀬 真
長澤 操

議会選出監査委員

代表監査委員とともに、町の財務について監査します。

佐藤 英一郎

あらまし

平成28年第2回定例会は3月10日から3月23日まで開催されました。町長から提出された議案は、平成27年度補正予算11件、平成28年度予算13件、条例の制定2件、条例の一部改正16件、条例の廃止1件、指定管理者の指定9件、工事請負契約の一部変更3件、「町過疎地域自立促進計画について」、「字の区域変更、画定について」の57件で、4件が否決、53件が原案のとおり可決しました。

一般質問は10名の議員により2日間にわたり行われました。

ほかに、議員提出議案1件が提出されました。

【一般会計予算の概要】

『歳入』

町税

景気の動向等を勘案し、個人住民税は営業及び農業所得減少により減額、法人町民税は事業成績の回復傾向により増額計上。固定資産税は、徴収実績を勘案し増額計上。町税全体においては対前年比1・9％増にあたる約3366万円の増額。

地方交付税

国の地方財政計画等により、前年度比で約1・5％増にあたる約4197万円の増額。

町債

過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債を活用し、直接借り入れ発行できる限度額を計上。

『歳出』

年金生活者等支援臨時福祉給付金

「二億総活躍社会」の実現に向け、賃金引き上げの恩恵が及びにくい高齢者の方々を支援し、個人消費の下支えに資する観点から支給を実施する。

風評被害対策

本年度は大幅に予算を確保し、教育旅行をはじめ一般旅行者、外国人観光客の呼び戻しを図る新規事業の実施。

スポーツ振興宣言の町

町民の皆様の健康増進と競技力の向上に努めるとともに、平成29年度開催予定の「全国高等学校総合体育大会空手道大会」を通し、元気な猪苗代町を発信し、おもてなしの心を持って取り組む。

《議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例》

問 議員改選時になぜ改定するか。

答 会津耶麻町村会で、会津管内の町村と比較し低いという協議があり、平成27年度中に検討することとなったためである。

反対討論

【渡辺真二郎議員】費用弁償と報酬を併せて議論すべき。報酬を上げるのであれば、費用弁償をなくすべきと思うので反対。

【瀧田勝昭議員】

町民の問題点や論点を明らかにし、政策監視評価を行うため、様々な取り組みを行う必要がある。そのため、引き上げは時期尚早であり反対。

【五十嵐ミエ子議員】

住民生活の実感として、景気回復を感じるのはまだ難しい状況であり反対。

【渡辺二公議員】

原発の風評被害がまだ止まらず大変な状況であるので反対。

《町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例》

問 平成22年4月に782千円を702千円に引き下げているが、平成21年度に町から大幅な引き下げの諮問があり、あまりにも下げ幅が大きかったため、10％カットで議決となった。

反対討論

【瀧田勝昭議員】雪不足による観光業への影響や、平成28年度予算で農業収入等の個人住民税の落ち込みを想定している中、町長の給与が上がるのは許しがたいので反対。

【五十嵐ミエ子議員】

国の税制改正等による負担が重なっており、町民を本位に考えると町長の給与を上げることが反対。

【渡辺二公議員】

風評被害で苦しんでいる町民の心に寄り添い、苦しんでいる町民を支援し助けていたただいたので反対。

賛成討論

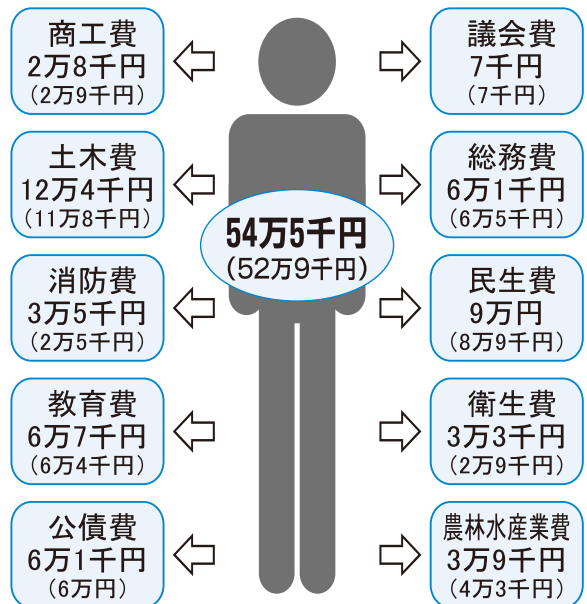
【渡辺真二郎議員】町長の仕事は365日の勤務であり、責任の重さや、大勢の職員のリーダーシップを発揮しなくてはならないので賛成。

【大橋清喜議員】

原発事故の終結、雪不足の観光減少と言われるが、それを乗り越え一生懸命頑張ってもらっているためにも給与を上げること賛成。

町民一人当たりの主な
使い道（一般会計）

※（ ）は27年度



【主な質疑・討論】

《平成28年度猪苗代町一般会計予算》

反対討論

【佐瀬真議員】道の駅の厨房備品は備品購入費から支出されると思うが、本体工事予算に含まれている。透明性のない予算には納得できないので反対。

【五十嵐ミエ子議員】

こども達の安全や子育て支援などがもう少し組み込まれていれどと思う。大型事業も大切だが、基本的な姿勢について納得できないので反対。

《猪苗代町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例》

問 なぜ88歳だけの敬老祝金をお祝いの品に変更するのか。

答 お元気な高齢者の方が増えるのは本町にとって大変喜ばしいが、平成14年度に始まった敬老祝金が平成26年度では人数、金額が倍増している。これから88歳を迎える方には大変恐縮であるが、90歳を目指し、健康に留意され目標を持って生活していただきたい。

反対討論

【五十嵐ミエ子議員】88歳以上の方々に長寿の祝金を配ることは、大変喜ばれている。高齢化が進む中、予算増加の問題はあるが、継続することに大きな意義があるので反対。

【瀧田勝昭議員】

老人を敬い、お祝い事をするにより、町の経済活性化が図られる。広く町民の意見を集約し、十分に検討が必要と考えるので反対。

賛成討論

【渡辺真二郎議員】敬老祝金制度が始まった昭和49年には、88歳まで生存する方がまれであったが、今は生存する方が多くなってきたので賛成。

【審議した議案と可決状況】

件名	1 星野あけみ	2 瀧田勝昭	3 佐瀬真	4 細貝功人	5 佐藤英一郎	6 大橋清喜	7 渡辺二公	8 長澤操	9 金本久美子	10 渡辺眞郎	11 五十嵐ミエ子	12 佐藤光幸	13 関沢和人	14 後藤公男	15 長沼一夫	結果
平成28年度猪苗代町一般会計予算	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	-	可決
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	欠	×	○	-	否決
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	欠	×	○	-	否決
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	欠	×	○	-	否決
猪苗代町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	欠	×	○	-	否決
猪苗代町奨学資金貸与条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	-	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、届出欠席「欠」、議長は採決に加わらない。

議長を除く13名の委員で、平成27年度補正予算10件、平成28年度予算13件を審査しました。

平成27年度補正予算

【主な質疑】

歳入

《町税》

問 固定資産税現年度分が2500万円増額となった要因は。

答 太陽光発電設置により評価が山林から雑種地となり、宅地評価面積が若干多くなったこと、また、評価替えによる落ち込みが想定より少なかったためである。家屋については、非課税法人の別荘が課税評価され500万円の増額、大規模償却資産が増加したことによる。

《国庫支出金》

問 年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業補助金の対象者数と支給時期は。

歳出

《総務費》

問 地方創生推進費の空き屋実態調査委託の内容は。

今後の空き屋対策を総合的かつ円滑に進めるために、実態等の把握やデータベース整備を行い、定住化に向けた対策と危険家屋の調査を行う。

《商工費》

問 風評被害対策費が前年に比べ5036万7千円増額となっているが、特に増額となった事業は。

答 平成27年度の観光入込が震災前の85％程度の回復であることから、「10万人10万泊」事業を行う。内容は教育旅行支援事業の他、新規事業で、プレミアム付旅行券事業、観光送客エージェント支援金交付事業、外国人誘客エージェント支援金事業を創設し、震災前の水準にしたい。

問 プレミアム付旅行券事業の内容は。

答 コンビニで4千円の旅行券が2千円で購入できる事業で、町外者が対象である。

答 1人当たり3万円で2020人を見込んでいる。4月下旬に申請書を送付し、1回目の給付は6月上旬を目安に準備している。

《県支出金》

問 道の駅整備事業費負担金の用地取得費減額の内容は。

答 簡易パーキング（トイレ・駐車場部分）の用地取得費であり、県との協定で面積割をし、確定した平成27年度の県負担分である。

一般会計

歳出

《総務費》

問 ふるさと納税事業費委託料296万円の減額内容は。

答 返礼品発送を委託しているが、当初の見込みより返礼品の発送が少なかったため減額した。

《民生費》

問 放課後児童対策費の報酬163万8千円の減額は。

《消防費》

問 防災行政無線設備工事の内容は。

答 音達が十分でない場所の屋外子局31力所の他、戸別受信機の整備である。

《教育費》

問 こども園は2園となるが、こども園費の予算額が3億4千万円と規模が大きくなっている。このような予算編成となった経緯は。

答 幼稚園費が合算され、4幼稚園と1保育所の経費が含まれた内容になる。ひまわりこども園は、光熱水費、賄材料費、通園バス運行委託と給食調理業務委託料が増加している。

問 子ども子育て支援給付費の支給の内容は。

答 子ども子育て支援法の地域型保育事業の小規模支援事業所・事業所内保育施設2園に対する給付費である。0歳から2歳までの保育を行っている施設を認定し、国2分の1、県と町がそれぞれ4分の1を負担する。

答 支援員の採用人数が予定より1名少なかったためである。こども達の安全確保のためにも支援員の確保に努めたい。

下水道事業特別会計

問 下水道使用料現年度分の380万円減額の要因は。

答 下水道の接続件数は増加し、収納率は98・9％を維持しているが、料金算定の基となる有収水量が人口減少により伸び悩んでいる。

農業集落排水事業特別会計

問 一般会計繰入金270万円の増額は。

答 使用料及び分担金の歳入が見込み額を下回った。使用料での維持管理が難しく、一般会計から繰り入れを行った。

平成28年度予算

一般会計

歳入

《町税》

問 個人住民税減額と固定資産税増額の要因は。

答 個人住民税は、給与所得は若干の伸びが見られたが、営業収入、特に農業収入については40％程度落ち込んでいることから減額。固定資産税は、前年度の実績を考慮し増額した。

《繰入金》

問 ふるさと創生基金繰入金の使用は。

答 教育事業補助金と大会出場補助金に使用する。

問 繰り入れ後の財政調整基金の残高は。

答 平成27年度末で、約8億2000万円を見込んでいる。

議員提出議案 賛成全員可決

「東京電力福島第一原子力発電所の事故による被害に対して適性なる賠償の更なる継続を実行していただく意見書の提出」

【提出者】 佐瀬 真 議員

【内容】 東京電力福島第一原子力発電所事故の収束の見通しのつかない現状において、長期的な視点により損害賠償支払いの更なる継続を、国と東京電力に対して働きかけることを強く要望する。

【提出先】 福島県知事 内堀 雅雄

各種委員の推薦

人権擁護委員

任期満了につき、次の方を推薦することに全会一致で同意。

長尾 幸子氏（上新町）

選挙管理委員会委員及び同補充員

任期満了につき、次の方々を指名推薦により当選人と定めた。

選挙管理委員

鈴木 傳氏（半坂） 鈴木 清孝氏（西館）
渡部 榮一氏（田子沼） 小松山政恒氏（大原）

選挙管理委員補充員

藤原 壽一氏（大在家） 渡部 作藏氏（東館）
小松山伸夫氏（古城町） 渡部 有司氏（白木城）

お悔やみ

平成28年2月28日、鈴木武喜前議長がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



渡辺 二公 議員

Q. 人口減少の対策は

A. 猪苗代町まち・ひと・しごと創生会議で対処する

【渡辺】人口減少の対策は。

【答弁】「猪苗代町まち・ひと・しごと創生会議」で人口ビジョンと総合戦略を検討してきた。

「きめ細やかな子育て支援」「魅力的なライフスタイルの提案」「安定した雇用創出」「交流促進」の各プロジェクトを柱に、町独自の「道の駅展開」と「地域を担う人材育成」を合わせ、6本のプロジェクトで取り組み人口減少をストップさせたい。



子どもは地域の宝だ

【渡辺】職員の残業の実態は。

【答弁】職員の業務が多忙な時期に係長、課長が判断し、時間外勤務命令を

出す。複数日の連続した時間外勤務の場合は、事前に課長から誰が

何日間行うという例外執行が、総務課長を経て副町長が決裁し、行っている。一人当たり60時間以上の時間外勤務は出していない。

【渡辺】原発事故の東京電力への請求は。

【答弁】東京電力株式会社への公共賠償は、風評被害対策事業、除染作業の経費、入湯税等があり、震災直後から年度ごとに請求してきた。請求総額は1億6777万5400円に対し、支払額は24・2%の4059万4770円である。

今後、町全体で東京電力株式会社の相談センターと交渉を進めたい。

【渡辺】風評被害対策と方針は。

【答弁】今年度の予算を大幅に増額し、粘り強く取り組む。平成24年6月に風評被害対策計画を策定した。平成27年は震災前に比べて85%まで観光入込数が回復しているが、教育旅行は被害が大きく、55%ほどである。引き続き事業を推進していく。

【渡辺】インフルエンザの現状と対策は。

【答弁】本年度のインフルエンザの流行の時期は、全国的に2月中旬にピークを迎えたが、全ての都道府県で警報が発令中である。

町内全ての医療機関からの聞き取り調査で、1日当たり7、8名が来院しており、いまだ収束していない。

町内全ての教育機関に、インフルエンザ予防啓発ポスターを配布した。また、予防接種助成を65歳以上の2451人に行った。平成28年度も約1千万円を計上している。

【渡辺】登園後、子どもの健康に変化があった場合は。

【答弁】発熱して37・5度以上の場合、保護者に連絡し降園いただいており、感染症への対応は学校保健安全法に基づきその種類に応じた措置をとっている。

予防の措置としては、学校医の意見を聞き、園ではうがい、手洗い等を習慣化し、健康管理に十分注意していく。

子ども達の教育は

【佐瀬】1年も開園が遅れたひまわりこども園だが、雪の少ない今年であつても駐車場や園庭などの雪の問題点があげられているが、施設側の対策は。

【答弁】園庭周りフェンスは高さをかさ上げし、下側隙間を狭くする工事を開園前に完了させる。駐車場・玄関周りの融雪設備は付けていないので、駐車場に仮置きしてダンブなどで排雪することになっている。

【佐瀬】すぐ横を流れている「さる川」には金網ネット設置で安全を担保するのか。また、従来から北側の町道に歩道が無く、徒歩での送り迎え、園児達のお散歩など危険な状況と指摘されているが。

【答弁】安全面での金網ネット設置は、園庭のフェンスのかさ上げ工事に対処出来ると考えるが、冬期間の状況を見ながら対策を講じる。歩道は施設敷地前面に関して早急に対応したい。「お散歩」は安全を確認しながら対応していく。

【佐瀬】通園バスのコースは児童の状況で毎年変えるのか。乗降は各家庭まで行くのか。

【答弁】バス利用の希望によりコースと停車場を毎年見直す。児童の多い集落では停車場に集まって頂く。

【佐瀬】全国で問題になっている待機児童は新しいこども園の開園で全て解消されたのか。

【答弁】保護者の方との調整会などを開いて、現状的には待機児童がないという状況である。

【佐瀬】小学校の複式学級も考えなければいけない時期が来る中で中学校の建て替えを延ばした訳だが、今後の対策は。

【答弁】小学校の複式は、場合によって統合を急ぎ部分的解消に努める可能性もある。中学校は、生徒数の減少が著しく、教育・運動の面で非常に苦勞している。

【佐瀬】考えておくべき猪苗代高校の存続問題は。

【答弁】高校が町に存在するということを重く受け止めるべきであり、将来の状況にもらみながら様々な活動をしていく。



雪対策に必要な開園前の新こども園

東電賠償金の継続要求

【佐瀬】東電が示した賠償金支払いの新指針に対し、更なる賠償金の継続要求を出すことが必要だが、どのような考えか。また、危機管理上この案が決まった際のコミュニケーションをしているか。

【答弁】今後も風評被害の回復状況や損害賠償の支払い状況を注視しながら適切に対処していく。賠償手続きが進められている現段階で、リスクマネジメントの検討は行っていない。今後の動向を踏まえながら適時適切な対応を考える。

※東電が示した賠償金支払い新指針：直近の年間逸失利益の2倍相当額を一括して支払い、その時点で賠償を打ち切る。将来損害額が2倍を超えた場合は、個別に事情を伺い、適切に支払うとしている。



瀧田 勝昭 議員

Q. 地域・学校・家庭における防災は
A. 町民の安心安全な生活を確保していきたい

防災対策の取組みは

【瀧田】磐梯山・安達太良山ハザードマップの現状は。

【答弁】安達太良山は、「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」において、「安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画」が策定され、今年3月、ハザードマップが完成した。磐梯山は、火山防災マップを発行しているが、「磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画」を平成28年度中に策定見込みである。その後、ハザードマップの作成予定である。

【瀧田】長瀬川の堤防決壊の予測や砂防急傾斜地での集中豪雨による土石流の発生などへの対策は。

【答弁】「猪苗代町洪水ハザードマップ」を作成済みであり、県は、長瀬川の浸水想定区域図等の『水災害情報図』を公表している。砂防・急傾斜は防災計画で危険箇所を明示している。土砂災害危険箇所は、県が工事を進めている。

【瀧田】災害時の要援護者の捉え方は。

【答弁】要支援者の対象及び要件を定め、避難行動要支援者名簿を作成しており、1290名が支援対象で、

このうち多くが高齢者である。名簿への同意を得て、警察署や消防署へ情報を提供する。また、避難時の個別計画として活用できるように、緊急時の連絡先や支援者、個別情報などの確認も行っている。一般の避難所では生活することが困難な要配慮者（高齢者、障がい児・者、妊産婦、乳幼児など）のための「福祉避難所」として、2施設を指定した。



磐梯山全景 西方向から 1984年9月21日
アジア航測撮影

公共工事の入札及び契約の適正化は

【瀧田】入札制度は。

【答弁】指名競争入札を基本に執行している。定められた随意契約も実施し、制限付き一般競争入札の導入を検討している。要請されている一般競争入札は、公平性の担保のために、意思と能力がある者は入札に参加できるよう一般競争入札を推進することである。工事費内訳書等の審査等、体制等の課題もあり、実施にいたっていない。

【瀧田】談合等の不正行為の防止、業務の簡素化、入札に要する費用の削減等の観点から電子入札の導入は。

【答弁】福島県、郡山市、会津若松市が導入している。制限付き一般競争入札制度を導入し、その検証が終了した後、電子入札の導入を検討していく。

【瀧田】包括的な地域維持型の契約方式の採用は。

【答弁】法律の規定により、発注者は、地域における社会資本の維持管理の効率的かつ持続的な実施のために必要があるときは、地域の実情に応じて契約できる。町は同種の複数の公共工事の一つの契約により発注する方法は一部であるが実施している。

【長澤】アフターDCの取り組みと教育旅行への対応は。

【答弁】昨年4月から6月まで「花・食・温泉」をテーマにふくしまDCが開催され、魅力ある観光素材をPRし誘客を図った結果、DC期間中の観光入り込みは前年同時期と比較し16.3%の増加となった。今年の4月から6月まで開催されるアフターDCでは「観音寺川の桜」「野口記念館初出展資料展示」等が福島県観光キャンペーンの特別企画と位置付けられ大変注目されている。

また、原発事故の影響で落ち込んだ教育旅行の回復を図るため、バス代助成を行う教育旅行支援事業を昨年度に引き続き実施し、早急な回復に努めていく。



長澤 操 議員

Q. 28年度の重点政策と投資的事業は
A. 6つのプロジェクトで取り組む

【長澤】具体的な取り組みは。

【答弁】6つのプロジェクトのうち「道の駅展開」の1例として、再生可能エネルギーの車両を導く電源付きのRVパークの設置、交流人口の増加に繋げる案内誘導のワンストップサービスの充実を図っていく。

また、まちなか等との連携は、平成27年度から始めたレンタサイクルも好評なので、更に充実拡大し、町全体の活性化に繋げていきたい。

【長澤】「道の駅」の付随する工事は。

【答弁】平成28年度施工の工事は、災害

農業の6次化

【長澤】進展は。

【答弁】平成27年度から独自に補助制度を創設し、5件の開発の協力を行った。また、地域農業活性化センター「アグリいな」で、えごま油の開発に着手した。町内の栽培者と情報交換をしながら、産品の開発につなげていきたい。

【長澤】町に合った作物の研究開発は。

【答弁】米では「いなわしろ天のつぶ」の他に、「福島30号（里山のつぶ）」という高冷地にあった品種を推進できるか見極めたい。そばは「いなわしろ天の香」のブランド化を進める。



4月から6月まで行われるアフターDC



渡辺 真一郎 議員

Q. 高い目標を持ちふるさと納税を推進すべきと考えるが

A. 地域産業・観光業の活性化に役立てたい

ふるさと納税の進捗状況は

【渡辺】ふるさと納税の推進の対策は。

【答弁】ふるさと納税ポータルサイトの「ふるさとチョイス」に平成27年10月から掲載し、全国に周知をした。東京猪苗代町民会の会員の方々は、ふるさと納税を始めたダイレクトメールを送付した。町奨励米「いなわしろ天のつぶ」や味噌、缶詰等16品目を箱詰めにした「おいしいものセット」、地元の清酒やワイン、地ビールを組み合わせた「のんびりセット」などを返礼品とした。

【渡辺】宿泊業、外食産業の活用ができれば大幅な増加が見込めると思うが、対象拡大の考えは。

【答弁】ふるさと納税のさらなる特産品期間限定商品、宿泊券、町イベントへの招待を伴った宿泊付商品等について、関係団体と協議し、特産品として、周知していきたい。

こども園の土、日曜日預かりは

【渡辺】土、日曜日に子どもを預けられず、就労に苦慮している。毎週土、日曜日開園の対策は。

【答弁】さくらこども園において第2、第4の日曜日に保育を実施している。ひまわりこども園においても同様に、日曜保育の実施を検討している。観光地としての特徴も承知しているが、こども園も教育機関であるので、バランスを取り原則を踏まえながら慎重に対応する。



第2、4日曜日に保育を行っているさくらこども園

建築規制と固定資産税の見直しは

【渡辺】景観条例の重点地域指定時に、固定資産税の見直しは。

【答弁】固定資産税は、宅地、農用地などの土地の利用状況及び利便性を考慮し、3年毎の土地の評価替を行う。景観条例の指定を受けたことによる特段の見直しは行っていない。

【渡辺】文化財保護法適用時での発掘経費の負担は。

【答弁】埋蔵文化財は文化財保護法に基づく国民共有の財産であるため、破壊する場合は原因者負担である。ただし、事前に試掘による確認調査は、教育委員会が実施する。

【渡辺】建築基準法42条2項の道路、いわゆるみなし道路に面し建築する場合、セットバックした面積の固定資産税は。

【答弁】みなし道路の減免措置は要領を定め、現に道路として利用している場合に限り、近傍宅地の十分の一に相当する価格で評価しており、分筆して道路として使用していれば減免措置がある。また、買収は、県内の市町村で要綱・要領等を定めており、今後検討していきたい。

体験交流館「学びいな」の利用状況と運営は

【答弁】平成28年度2月末日の数字であるが、利用人数はすでに過去3年間を上回る利用状況である。今後も魅力ある事業展開や、町内外へのPRに努める。

【細貝】大ホールの高額な利用料や、ホール内での飲食禁止など、利用しづらいとの声がある。改善する考えは。

【答弁】すでに町体験交流協会をはじめ、町が育成又は組織する団体が主催する事業等は、使用料の3分の2を減免している。今後も町の文化育成のため、「猪苗代町公の施設の使用料減免規則」に基づく事業や、対象団体に対し、規則にのっとった軽減をし、利用しやすい施設として努めていく。飲食は県内の各ホールについても、禁止されているので、ご理解いただきたい。



町民の学びの場「学びいな」

役場職員の町内居住対策は

【細貝】町外居住の役場職員は13人であるが、災害発生時の職員収集の対処方法は。

【答弁】行動指針として「発生時から48時間以内」に各々が実施すべき応急対策活動を迅速かつ適正に実行できることを目的として「猪苗代町職員災害初動マニュアル」を作成している。これまでのところ、職員の招集の遅れ等により業務に支障をきたした事案はない。

【細貝】職員の町内居住に何らかの対策を行っているか。

【答弁】通勤届等が出た場合に確認するのみであり、指導はしていない。職員の採用試験の際に受験者に対して、災害時に迅速な対応ができない場合もあるため、できるだけ町内に居住されるようお願いしている。

【細貝】職員等が公営住宅等に入居の実はあるか。

【答弁】町内に居住する職員及び町外から通勤している13名についても、公営住宅等に居住している事実はない。

細貝 功人 議員

Q. 役場職員の町外居住者は何人か
A. 3月1日現在、13人である





五十嵐 ミエ子 議員

Q. 特養老人ホームの増設は出来ないか
A. 町が直接施設整備することは難しい

国保税の引き下げは

【五十嵐】国民健康保険の加入者の中には無職者や年金だけで暮らしている方も多い。保険税の引き下げを考えることは出来ないか。

【答弁】昨年は基金の取り崩しなどを行い、保険税を上げなかった。本年は10%ほど引き下げになっている。

【五十嵐】一般会計からの繰り入れをし、さらに引き下げる考えは。

【答弁】医療費との兼ね合いで定まるものであり、国保税の負担としては適正に賦課しているものと考えて。また、平成27年度の税率を見ても、所得割では1割弱の方が少なく、なっていると認識している。

【五十嵐】被保険者資格証明書が交付されている「特別の事情」内容は。

【答弁】国民健康保険施行令に定められ「世帯主が災害にあつたり、盗難にあつた場合」「世帯主又は生計をひとつにする親族が病気やケガをした場合」「世帯主が事業の廃止や休止をした場合」「世帯主が事業で著しい損失を受けた場合」等となっている。



特別養護老人ホーム いなわしろホーム

【五十嵐】被保険者資格証明書と短期証明書の発行数は。

【答弁】平成28年度3月末で、被保険者資格証明書は25世帯31人で、短期証明書は73世帯143人に発行している。

【五十嵐】国民健康保険の加入者数は。また国民健康保険税は基金と繰越金の一部を使えば下げられるのではないか。

【答弁】平成28年度2月末現在で、加入数2206世帯、3867人である。基金は不慮の病気等の際に当てる目的であり、平成28年度予算では基金繰り入れなど、繰越金も見込んだ形で計上している。

特養老人ホームの増設は

【五十嵐】特養老人ホームは待機者に見合う増設をすべきではないか。

【答弁】平成37年には後期高齢者人口がピークに達すると予測される。町が直接施設整備することは難しいと考えるが、第6次介護保険事業計画の中で、民間事業者の有料老人ホーム1カ所の整備計画がある。

【五十嵐】介護予防日常生活支援総合事業が進められるが、自治体の主導でサービス低下は無いのか。

【答弁】全国一律のサービスから市町村ごとのサービスになるが、これまでどおり在宅での生活が維持できるように、生活支援のサービスを維持向上させていく。

【五十嵐】地域包括ケアシステムは。

【答弁】「施設から居宅」「介護から予防」へと、介護保険制度の改正から施策の推進が求められている。住みなれた地域で、自分らしい暮らしを続けることが出来る、様々なサービスを組み合わせた構築を進める。

金本 久美子 議員

Q. ひまわりこども園の通園の安全対策は
A. 施設敷地前面の町道の安全確保を早急に講じる

ひまわりこども園の追加対策は

【金本】JRやさる川の排水路対策のフェンスのかさ上げ、盛土等の完成は。

【答弁】フェンスのかさ上げと下部の間を狭くする改修を3月末までに完了させる予定である。

【金本】通園バスの乗車希望78名の具体的な経路、人数、所要時間は。

【答弁】1号車は49号線のルートで、戸ノ口集会所から西久保、三城潟、新在家、こども園。13人。折り返し今泉、新堀向、伯父ヶ倉、沼ノ倉、桜ヶ丘、新北町、中央商店街で13人。2号車は県道7号線ルートで、成田牧場、中町、半坂、猪苗代小学校、ムナカタ薬局、福島銀行で16人。折り返し釜井、烏帽子、仁蔵、堅田、相名目、入江、西館で10人。いずれも30分以内である。3号車は市沢から26名で53分である。長時間の乗車になるので、保護者宅、コンビニ等のトイレの利用などの話し合いをしていきたい。

猪苗代保育所跡地の有効利用は

【金本】保護者説明会で提起された問題点は。

【答弁】改善策を講じ、今後保護者の方や保育教諭と認識をひとつにしながら、さらに改善していきたい。

【金本】猪苗代保育所の請願採択後の利用検討は。

【答弁】保育所跡地利用は前から公共財産として生涯学習課に所管替えし、図書歴史情報館の収蔵庫の利用を考えている。

【金本】障害者福祉施設を建設するより財政負担が軽減され、立地条件もよく、他町村や他福祉団体とも連携し、充実させていくためにも猪苗代保育所跡地が最も有効であると考えているが。

【答弁】図書歴史情報館の建設計画時に、町民の方々から「図書館のスペースを広げて欲しい」「展示スペースは現在のスペースでいいが、バックヤード的な保存庫がないと



活用が期待される保育所跡地



関沢 和人 議員

Q. 人口減少問題は現在も喫緊の課題と捉えているか

A. 今でも変わっていない

【関沢】地方創生「地方版総合戦略の策定」は完了したか。

【答弁】「人口ビジョン」と「総合戦略」の素案を策定し、国、県との調整を経て、今月策定を完了している。

【関沢】魅力的なライフスタイル提案プロジェクトの内容は。

【答弁】定住や移住のプロジェクト会議の創設、移住定住促進事業、若者に魅力的なライフスタイルのPR、空き家などの実態調査と空き家対策の立案、定住・移住相談ワンストップサービスの実施、地域おこし協力隊の活用等を盛り込んでいる。

【関沢】「交流促進プロジェクト」の内容は。

【答弁】多様な主体による観光戦略の立案、地域資源を活用した観光振興、インバウンド誘致の強化、まちなかの魅力向上、地域間の交流、安心して暮らせる高齢者対策の充実等である。

【関沢】地域を担う人材育成プロジェクトの内容は。

【答弁】学校等との連携、教育の充実、町民のおもてなし力の向上で、それらの中に細かい事業等も盛り込んでいる。

企業誘致の取り組みは

【関沢】企業誘致はホームページに工場適地、紹介可能物件、企業立地における優遇措置などの掲載をしているが、今もオーダーメイド型か。

【答弁】ホームページの掲載内容は、平成26年6月時点と変更はない。

【関沢】工業団地分譲について、財政負担の少ない方法で取り組む考えは。

【答弁】今泉の非農用地と旭乳業跡地、空き工場2件を企業誘致候補地として紹介している。これらの情報を広くPRしながら、企業誘致に引き続き取り組んでいく。

【関沢】定住促進事業補助金と民間賃貸住宅家賃補助の成果は。

【答弁】本年度の実績は、民間賃貸住宅家賃補助金は3件、定住促進事業補助金は中古住宅が2件、新規は1件である。

【関沢】地域おこし協力隊2名の業務は。

【答弁】6次産業化ブランド等の支援で、英文の翻訳や野菜ソムリエ等になっただけの方を1名と、空き家等のデータベースを基に移住

定住者の相談窓口員としての部分を受け持つ方1名を予定している。

【関沢】町の良さを広げるために、おしんさんの嫁入りの復活や松平墓所の完成等のイベントを実施すべきでは。

【答弁】おしんさんの嫁入りは関係団体と相談したが、スタッフの対応等様々な問題があり、復活していない。松平墓所の有効活用は、今後検討していきたい。



復活が待たれる「おしんさんの嫁入り」

※インバウンド：海外から国内へ来る観光客のこと。

星野 あけみ 議員

Q. 「きめ細やかな子育て支援」とは

A. 総合戦略の基本の柱。切れ目のない子育て支援を行う

【星野】妊娠から出産・子育てまで一環してサポートする「子育て世代包括支援センター」を設置し、安心して子育てができる支援体制が必要だと思うが。

【答弁】厚生労働省が推進しているが、県内で設置している市町村はない。母子手帳交付時の面談や出産後の全戸訪問、乳幼児健診、月2回の健康相談で対応している。

【星野】赤ちゃんとお母さんの両方が絵本を開く楽しい体験と心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる「ブックスタート事業」を実施できないか。

【答弁】平成27年度から、乳幼児健診の場に絵本を配置している。待ち時間に親子でふれあっている。また、絵本の読み聞かせ「おはなしの森」を月2回程度開催している。平成27年度は、27回開催し、のべ257名の参加があった。今後も開催場所の拡充や家族のつながりが深まる取り組みに努める。



“子育てサロン日向ぼっこ”で行われている「おはなしの森」

窓口の住民サービスの向上は

【星野】住民票や戸籍を申請する際、町民の負担を減らすため、申請書を1枚にする考えはあるのか。

【答弁】何枚も申請書を記入するのはわずらわしいと思うが、住民票と戸籍証明の両方が必要な場合は実態としてはかなり少ない。

申請書を1枚にすることは可能であり、近隣市町村でも運用しているところもある。

町では、申請書の色分けや文字を大きくするなど対応している。なお、今後検討させていただき、町民目線での対応を心がけていく。

【星野】町税や使用料など納付者の負担を軽減するコンビニ納付は有効と考えるが、今後拡充する予定は。

【答弁】水道使用料は導入しているが、税・料金等は手数料が割高であるため、早急の導入は難しい。

町民の健康増進は

【星野】未受診者への対応と受診率を上げる施策は。

【答弁】各がん検診は、企業検診や病院で受けている方もいる。特定検診は受診勧奨の通知を発送し、平成27年度は792名の未受診者のうちの38名（4・8％）に受診いただいた。

平成25年度から大腸がんの講演会を実施。国のクーポン事業も併せて実施したところ、大腸がん受診率は5・1％増加した。

土・日の健診月も設定し、一人でも多くの方に受診してもらえよう工夫している。

【星野】今後の施策は。

【答弁】「健康寿命の延伸」「生活の質を維持向上する」ことを柱に町民の方々のご意見を頂戴しながらできる限りの施策を実施していく。

町民の声



長瀬地区
長澤 美香 さん

“私のまち 私達のまち”

嶺峰磐梯山と広大な猪苗代湖に囲まれた風光明媚な野口英世の町。これが私が友達に紹介する自慢の故郷です。今後もオリンピックのガーナナショナルチームの誘致で大いに盛り上がるであろうことは、私自身も誇らしく思っております。

一方で、他市町村と同じく少子高齢化の足音は身近な地域や知人にも及んでおります。私は町内の介護保険施設に勤務しておりますが、自らが年老いた時に十分なサービスが提供されるか、不安に思うこともあります。

介護保険を取り巻く状況は、3年毎に大きく変化しており、保険料・自己負担が増大し、サービス対象も縮小していく傾向にあります。また、介護現場で働く方の確保も大きな社会問題になっています。幸いにも、私の職場では全職員が一丸となって人材の確保に協力し、医療から施設、施設から在宅へと、切れ目のないサービスを提供できる体制を確保しております。

ご利用者様一人一人に、それぞれ人生の輝きがあり、ご家族様の思いやりが深くこの猪苗代町に根ざしていることを感じます。そして私自身もこの猪苗代町に暮らし、地域に貢献してきた方々と同じ様に年を経たいと思うのです。

「私達が私達自身の暮らしを支えることのできる町であること」もまた、観光資源と同じように、この町の誇りであると思います。私自身、そのような誇りを担う一端であるようにと、精一杯頑張っております。

傍聴においで下さい

**6月議会は
6月7日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：9日(木)・10日(金)】

※質問者・質問内容については6月2日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ



新しく選任された議会広報編集特別委員

編集後記

議員改選後、臨時議会で新たな議会構成が決まり、3月定例議会が開催されました。

猪苗代町議会では最多の3人の女性議員が誕生し、緊張の中にも真剣に質疑が交わされました。

議員改選により編集委員も新しいメンバーになりより解りやすく、新たな視点からをモットーに、町民の皆様親しく読んでいただける広報誌を目指し、一致協力して広報活動を行ってまいります。

皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしています。

後藤 公 男

議会広報編集特別委員会

委員 長	後藤 公 男
副委員長	佐藤 英一郎
委員 星 野 あけみ	
委員 瀧 田 勝 昭	
委員 佐 瀬 真	
委員 細 貝 功 人	
委員 渡 辺 二 公	
議長 長 沼 一 夫	